



### 第9回福高塾

## 日本のこれから「世界発信」に向け ヒントがいっぱいの講演

### 野元浩さん(高24回)を迎えて

#### JRの新車両開発やシステムづくりで活躍する



第9回福高塾は昨年10月25日、JRで「スーパーあずさ」など多くの新型車両の開発を手掛け、現在は鉄道発祥の地である英国において、日本の鉄道システムの導入に携わっている日立製作所・笠戸交通システム本部の野元浩さん(高24回)をお迎えし、25人が参加して

品川区総合区民会館きゅりあんで開催しました。

今回は、開業50周年を迎える新幹線にちなみ、「新幹線に至る日本の鉄道史と最新の技術動向」をメインテーマに、①日本の鉄道の発達の特徴として②新幹線を実現した技術(交流電化、ATC、台車、気密構造)



③新幹線の革新(最高速度210km/hから320km/h)④最新の鉄道技術(インバータ、ハイブリッド、蓄電池車など)⑤英国向け車両の開発(野元さんの現在の仕事の紹介)について講演いただきました。



野元さんは豊富な資料をもとに、わが国

の鉄道の歴史や新幹線の開発秘話、また、ご自分が開発した車両に乗ったお客様の反応を聞き、思

わず「よっしゃ」を叫び出したなど、公共交通に

関わる技術者ならではの多彩な実体験に即した話題を次々と紹介。また、鉄道発祥の地なのに、安全性、正確性など鉄道を支えるシステムが凋落したため、日本の企業が改革のお手伝いをする事になった英国の行政組織や事業システム、ファイナ

ンスといった背景について、の解説、さらに現地ス

ターフとの交流など、私たちの仕事にも参考になるような話題が多く、楽しくも実践的で貴重な講演を満喫することができました。

※

「とりわけ、世界トップレベルの安全性・正確性・経済性等を誇る日本の鉄道技術の最先端で、究極のCS(安全性と快適さとおもてなし)の実現に取り組んでこられた野元さんのお話には、これから日本が海外へ向けて様々な「発信」をしていくうえで、目指すべき針路を考えるヒントがあったようで、大いに刺激を受けました。

野元さんは本業の傍ら、鉄道雑誌などで執筆活動をされており、『電車基礎講座』知

つて「つもり」から「確

かな知識」へ」(第38回国交通図書賞受賞)や「エ

コジョートレイン 省エネルギー車両の開発ストーリーと技術」などの著者として知られています。鉄道好き、テクノロ

ジー好きは「たまらない作品」と評判です。

講演に続く恒例の懇親会では佐伯会長の音頭のみならず、講演についての質問や、それぞれの近況、高校時代の思い出話などで盛り上がり、最後は全員で『祝い目度』『博多手一本』で締め、平成26年度の福高塾もつづがなく終了することができました。

報告/企画委員長 河津明信・高33回



### 第38回 福友会ゴルフコンペ

## 想定外の優勝に 本人が一番ビックリ

### 石原 昭文(高12回)

平成26年11月21日、立川国際カントリー倶楽部

で懇親ゴルフが開催されました。同期の手柴光信

さんに誘われて、同じく同期の桑野訓さんと岡本

徹さんの3人で初参加で

す。同級生4人で和気あ

いあいとスタートするこ

とができましたが、ホー

ルを重ねるごとに「こん

な筈じゃなかった」の連

発で、「もっと詰めて練習

しなくちゃな」などと密

かに反省してい

るうちに18ホー

ルを終えました。

結果は108。

懇親会で配られた成績表を見て

我が目を疑いま

した。なんと優勝

の欄に小生の名

があるではありませんか。HDC

Pが新ベリア方

式で33・6となっ

ており納得しま

したが、ベスグロ

の内山浩一郎さ

ん(高7回)や準

優勝の高柳義隆さん(高

7回)などの高スコアの

先輩方を差し置いての優

勝。あらためて皆様にお

礼を申し上げます。

福高時代は水球部で体

力には自信があるつもり

で、下手の横好きではあ

りませんがゴルフを40年以

上続けてきました。全盛

期には年間約40回コース

に出ていましたが、この

十数年は年間10回程度で

す。そこで次回に向けて

『月いちゴルフ』が一年

でシングルを目指す方

法』という本を買いまし

た。この本曰く「ボギーオ

ン・ベース」がスコア82

の黄金法則!だそうです。

夢を追い続けたいと思っ

ています。



筆者